

高田ロータリークラブ会報 2017~2018年度

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区 ガバナ-

「クラブと地区の 変革をめざそう|

高田ロータリー今年の スローガン

「しなやかな変化で 奉仕を高めましょう」



ロータリー: 変化をもたらす 2017~2018年度

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー 2560地区ガバナー 新保 清久

敏一 高田ロータリー会長 橋詰

> 幹事田中 正人

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号 TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534 メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp 例会場: デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員 箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邉 隆 山田 守 小池 猛紀

第4回例会■7月28日金

No. 4

会意為罗●橋詰



先週お伝えしました国際ロータ リー会長エレクト サム・オオリ氏 の死亡に関する続報が有り、ウガン ダ共和国の国葬として7月25日~ 28 日にかけて執り行われました。

ウガンダの国としても大きな方を失ったと共 に、我が国際ロータリーとしても同様であります。 ご冥福をお祈り申し上げます。

また、先週は高齢者のアイドル的存在の聖路加 国際病院 日野原重明名誉院長が105歳の生涯を 閉じられました。先生は、上越でも講演されてお られますが、生活習慣病の概念を提唱され、看護 大学院を日本で初めて設置、看護指導者の育成に 尽力されました。

最近では、医療スタッフの過重労働の改善の為、 診療科の診察数を減じたりと常に先端の医療環境 に取り組んでおられました。

日野原先生は、高齢となっても目標を持ち、社 会に少しでも貢献する生き方を説かれておられま した。私も、見習ってまいりたいと思っておりま す。

Ж 報 告 席

出席率 96.36%

セレモニー

2016-2017 年度 100%出席者表彰

委員会報告

親睦委員会

7月の会員お誕生日各お祝い

8/4納涼例会のご案内

青少年奉仕委員会 飯塚委員長

7/15IA 年次大会 · 7/16 · 15RA 地区行事参加報告 高田 RAC チャリティーフリーマーケット報告 SAA 大谷委員長――例会での席順について

幹 事 報

配布物:週報No.3

報 告: 9/16 IM のご案内

10/29 地区大会のご案内

11/18 米沢上杉 RC55 周年式典のご案内 九州北部集中豪雨義援金の募集について

(お願い)

クラブ協議会③



プログラム委員会 髙橋委員長(田中 幹事代読)

楽しく魅力ある例会が出席率向上と 退会防止に寄与すると考え、充実した プログラムの編成を図ります。

事業計画として

- 1. 会員卓話を通して会員相互の理解を高めて頂く。
- 2. 卓話にシリーズを設けてみる。
- 3. 地域等で話題になっている事があれば、タイ ムリーな話を聞く。

会員卓話 日の入城 青木家の歴史について

箕輪 賢一君



□ 今回の会員卓話では、私の母親の 実家について歴史を含め紹介したい と思います。子供のころ、古い歴史

のある家だと子供ながらに思っていましたし、母からも先祖は800年以上も前からこの地に暮らしていたと聞いていました。天皇陛下が青木家へご休憩されたという石碑等が庭にいくつか建てられておりいつかは、先祖について調べてみたいと考えていました①青木家の先祖はどんな方? ②なにを職業としていたのか? ③何故、天皇との関りがうまれたのか? そんな疑問を子供のころから持っておりました。

天皇家との関りは、さかのぼること 1221 年 承久の乱により島流し(流罪)となった第84代 の天皇【順徳上皇】との出会いに始まったようで した。承久の乱は後鳥羽上皇・土御門上皇・順徳 上皇の朝廷側が幕府討幕の為に兵を挙げ北条家に 敗れた有名な兵乱です。

佐渡への流罪が決定した順徳上皇は京都より船で現在の上越市名立区の浜から上陸されしばらくの間この地で休まれることとなり、その時に【日の入城】城主の 城 基知が(青木家の祖先)上皇をお迎えし、お世話をすることとなったのが始まりのようでした。

「日の入城は山城で、標高 300m 現在の高速の 名立インターの上部に位置していました」

上皇は佐渡へ渡る前に、御礼として自宅の庭の四隅にタブノキを記念に植えられ、苗字も城から→青木に改めるよう勅許されたと伝えられております。青木家としては鎌倉時代以降〜戦国時代も上杉家方について上杉家(景勝公)が越後を離れ東北へ向かうまで春日山城を守るための出城として戦ったそうです。

その後、承久の乱後 657 年ぶり 明治天皇が全 国を巡行され明治 11 年 1878 年 9 月に新潟県に入 られ、順徳上皇の過去の歴史を知ったうえで 青 上越市大字茶ケ原1番地(箕輪家母上の実家) 木家にて旅の途中に御休憩されるという出会いが 再びありました。明治天皇は順徳上皇が植えられ たタブノキ(アオキ)を観賞され、又、日本海の 白波を見て詠まれたとされる歌を残されていきま

した。

"白波のかへる日かずをかそふれば~ またはるかなり こしのなが浜"

佐渡の真野山にて火葬され真野御陵に葬られていた順徳上皇の御尊骸も、明治7年に正式に京都へ戻されることとなり、佐渡から京への帰り道に宮内庁の方々も上越市大字茶屋ケ原の青木家に寄られ、小休所として休まれたそうです。

ここからはメンバーの皆さんへのお願いになりますが、非常に古く・歴史的な価値もある鎧や刀、明治天皇がご使用された御ひつ・手洗い桶・玉座などもあり何とか後世に引き継ぐことが出来ればと思いますが、一人娘さんが大阪へ嫁ぎ青木家を守る当主がいないので国や県、市からの協力により少しでも永く保存が出来るよう皆さんから情報・アドバイスを頂きたいと思います、勿論私も自分なりに情報を集めたいと思うので是非ともお願い致します。今回は良いきっかけをロータリークラブから頂きありがとうございました。









